

脱原発四日市市民の集い



活動紹介

■活動場所

四日市公害と環境未来館活動室、
四日市市文化会館、中部地区市民センターなど

■活動日

年2回ほどの学習会や映画会を開催し、
毎年9月に反原発の集会やパレードを企画します。

■活動内容

2011年3月福島第一原発事故が発生。わが国始まって以来最大の公害、環境破壊を引き起こしました。今も原発事故は収束しておりません。たくさんの人々が故郷を失い、生業を奪われ、人と人とのつながりを絶たれました。今も放射能の危険の下に、福島の人々の苦しみは続いています。

私たちは、2度とこのような事故が起きないように、原発や、放射能汚染について、議論を深めていきます。人類と原発は共存できません。経済優先の社会から、自然やいのちが大切にされる社会へ、私たちは原発ゼロ社会をめざして行動します。



2023年度の主な活動

- ◎3月26日(日) 映画『日本と再生～光と風のギガワット作戦～』
講演《松岡武夫さん》「原発の最大限活用へ暴走する岸田政権」
- ◎9月23日(土) 市民集会とデモ
講演《大島堅一さん》「原発開発推進への転換は許されない
～その3つの理由～」
- ◎12月2日(土) 環境フェアに出展
- ◎11月26日(日) 講演《武藤類子さん》「終わらない原発事故と福島の今」
- ◎3月2日(土) 福島在住の山崎健一さんのお話を聞く会
「3.11を忘れないー原発事故はいつでもどこでもー」

代表者の想い

原発の稼働により発生する核のゴミは、10万年もの間、放射線物質を出し続けます。未来の子どもたちへの負担をなるべく減らすためには、これ以上核のゴミを増やさないようにしなければなりません。また、まだ決まっていない最終処分場の議論を深めるためにも、再稼働を凍結し、核のゴミの総量を確定させることが重要だと考えます。

PR

市民による賛同拠金により、会の運営を行っています。シンポジウムや集会は、どなたでも参加でき、会費はいただいておりません。是非、ご参加ください。